

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	理論物理学との融合によるマクロ経済学の再構築	
研究総括	吉川 洋	
所属機関・部局・職	東京大学・大学院経済学研究科・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>マクロ経済学の再構築を統計物理学の手法に基づいて展開しており成果を出しているとともに、国際的発信もなされている。</p> <p>研究期間延長後の研究展開の理念が明確であり、今後も大いに期待できる。特に、この種の解析で公のセクターをどのように組み込むのか、また、経済危機をどのように予測するのか、それらの成果を期待したい。</p> <p>一方、労働生産性、景気循環、イノベーションがマクロ経済学に及ぼす影響は、理論物理学からみて斬新な分析結果を生むかどうか、現段階ではいまだ不透明である。理論的にはほぼ完結されており、今後、経費と成果とのあいだには、あまり研究発展に向けての連関がみえないが、ことに国際カンファレンスのあり方については、規模として拡大・縮小のいずれも可能であるように見えるので、慎重な配慮のもとで方針決定を行なっていただきたい。</p>		